



【FP+Cmab療法について】
(5-FU+シスプラチン+アービタックス)



ID:

様

1

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
硫酸Mg注 KCL注	副作用予防	1時間30分																						
アロカリス注 パロノセトロン注 ポララミン注 デキサート注	アレルギー予防・ 吐き気止め	30分																						
アービタックス注	分子標的薬	初回2時間 2回目以降1時間																						
マンニトール注	利尿剤	1時間																						
シスプラチン注	抗がん剤	2時間		腎臓を保護するため、たくさんの輸液を点滴します。無理のない程度に水分補給をして、頻繁に尿を出しましょう。																				
5-FU注	抗がん剤	96時間																						



治療による副作用

:注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
自覚症状	アレルギー様症状																						
	発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																						
	食欲不振・吐き気																						
	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																						
	口内炎																						
	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。																						
	下痢																						
	便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出る時はお知らせ下さい。																						
手足のしびれ																							
手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																							
皮膚症状(皮疹、乾燥、爪囲炎など)																							
にきびのような発疹ができたり、皮膚が乾燥してひび割れができることがあるので、保湿剤を使うなどして予防しましょう。爪の周りに腫れや痛みが出ることがあります。																							
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																							
髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																							
検査値	白血球減少																						
	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																						
	赤血球減少(貧血)																						
	貧血の症状(動作時の息切れ、動悸)がでたりします。転倒に注意しましょう。																						
血小板減少																							
出血しやすくなって手足に赤い点やあざができたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																							
腎機能低下																							
顔や手足のむくみ、尿が少ない・出ないなどの症状が出ることがあります。																							



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。